



目黒区立原町小学校

令和8年度 学校経営方針

かかわり合いながら 自己実現
できる学校を目指して

校長 加藤 明恵

学校教育目標

- よく考える子
- 助け合う子
- 明るく元気な子

多様な人とのかかわりを通して、自分と違う見方や考え方に気付いたり、友達と仲良くするために必要な技能やマナーを習得したり、自己理解と他者理解を繰り返しながら自己実現できる児童を育てていく。

目指す学校像

児童

「自分大好き」

友達大好き 学校大好き」
と感じながら生活する学校

教職員

「私の学校」

という意識をもって、協働して課題解決に取り組む学校

かかわり合いながら
自己実現

「自分の町の学校」

として、児童の成長を支え励ます学校

保護者・地域

【令和8年度の重点的な取組】

①自己肯定感の醸成

- ・キャリア教育（起業家教育）の充実
- ・いいとこさがし（学級 兄弟学年）
- ・今日のハッピー（自分の振り返り）
- ・ライフスキルの継続（自己認識・共感スキル）

②自己調整力を高める

- ・自己選択学習の時間の充実
- ・特別活動（学級会）の充実
- ・フォーサイト手帳の活用（5・6年）

③原町タイムの有効活用

- ・M I Mの継続
- ・パワーアップタイムの継続

【令和8年度の重点的な取組】

④5・6年生の教科担任制

- ・学習の質向上・多面的な児童理解・中学校への準備

⑤体力向上

- ・外遊びの日常化　・朝トレーニング
- ・長縄やペースランニングの強化月間

⑥いじめ防止の取り組み

- ・いじめ防止授業週間　・毎月の学校生活アンケート
- ・STOP!いじめ　わたしの行動宣言
- ・いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議

【令和8年度の重点的な取組】

⑦児童・教職員・地域・保護者のかかわり合い

- ・あいさつ運動 ・学年親睦会 ・住区の行事
- ・のびのびタイム（4年生以上/月1～2回金曜日実施）

⑧保護者・地域と取り組む教育活動

- ・授業サポーター（体力テストや調理実習のサポート
1年生配膳補助・校外学習の引率）
- ・学校運営協議会継続（コミュニティスクール）

保護者の皆様へお願い

①学校(先生)と保護者の対立はお子さんに決していい影響を与えません。学校と保護者は共に手を携えながら、同じ方向性・歩調で
(指導方法を共通理解し一緒の方針で)教育していきましょう。

②ご家庭では、お子さんに聞こえるところで、先生への不満や批判になるようなことを言わない。よう心がけてください。

保護者が批判していることがお子さんに伝わると、学級で先生(担任)のを批判的に見たり、見下すようになったりして、「学級をよくしよう」という気持ちが薄れたり、「学級崩壊」に繋がったりするケースが見られます。むしろ「先生はあなたのことを考えているから、叱ってくれているんだよ」などと
言ってあげた方が、いい方向に行くケースが多いです。もちろん、「先生の指導はどういう意図なのか」「なぜうちの子が？」などという疑問があれば、どうぞ遠慮なく学校へご相談ください。一緒に解決していきたいと思います。

また、友達に関しても子ども目線と親目線は違います。友達に対する不満等もお子さんの言動に影響することがあります。上記同様にご相談ください。

保護者の皆様へお願い

③学校（先生）や保護者、子どもの情報（特にマイナス）を事実確認せずにSNS等で情報発信することは決してなさないでください。

後で確認したら「そんな事実はなかった」「間違った情報でした」では済まされず、保護者間の仲間はずれやいじめにつながるケースがあります。お互い気を付けていきましょう。

また、行事等で撮影した画像や動画等のアップもなさないようお願いいたします。

④児童同士の問題が起こった場合は、「自分の子も他の子に迷惑をかけてしまうこともあるかもしれないから、お互い様」という寛容な気持ちで対応していただければ幸いです。

児童は学校生活の中で様々な失敗やトラブルを経験しながらその都度成長していきます。卒業までお付き合いする保護者同士ですので、ぜひよい関係を続けてほしいと思います。